

大規模災害発生時の備えに関する各団体の取組状況等一覧

| No. | 所属団体名 | 1 取組状況 | 2 取組予定 |
|-----|---------------------|--|---|
| 1 | 秩父都市医師会 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 医師会内に大規模災害対策担当理事を委員会に設けている。 (2) 秩父都市医師会災害医療対策要綱の刷新のため確認作業をしている。 (3) 災害医療コーディネータ研修の参加を勧めている。 (4) 圏域ケア連携会議を通じ、ちちぶ地域医療介護研修会として、多職種向けに令和7年8月27日に『災害時対応研修』を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 大規模災害対策委員会の開催 (2) 秩父都市医師会災害医療対策要綱の刷新 (3) SNSを利用した大規模災害発生時の情報伝達網の整備 (4) 各種大規模災害研修会への参加 |
| 2 | 秩父都市歯科医師会 | <ul style="list-style-type: none"> (1) LINEによる秩父都市歯科医師会緊急連絡網の構築 約92%の会員が参加 (2) 埼玉県歯科医師会公式アプリ彩歯ナビへの登録促進(県単位での安否確認等) (3) 秩父都市独自の非常用口腔ケアグッズ 講演会、研修会等イベント開催時に配布(今まで約600セット配布) <p>備蓄 非常用口腔ケアグッズ 約500セット ガウン 900セット フェイスシールド 350セット マスク 4500</p> | 非常用口腔ケアグッズについては今後も講演会等で配布していく予定 |
| 3 | 秩父都市薬剤師会 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 平時より災害時対応研修会、災害薬事講習会等への参加 (2) 災害薬事コーディネーター(薬剤師災害リーダー)の養成 (3) 感染症対策の研修 (4) 避難所などでの環境衛生検査方法の習得 (5) 医療用医薬品の備蓄(ローリングストック) (6) 災害時の埼玉県薬剤師会との連絡調整 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域の学校との情報共有 (2) 学校薬剤師の災害時対応研修会への参加 (3) 薬剤師会のBCPの作成 (4) 会員安否確認方法の検討 |
| 4 | 秩父市立病院 (災害時連携病院) | <ul style="list-style-type: none"> (1) 災害時連携病院の指定要件である、埼玉地域DMATを保有 ・埼玉地域DMAT隊員の登録数 (医師:1名、看護師:2名、業務調整員:2名) ※ 埼玉地域DMAT養成研修へ看護師1名参加 (12月予定) (2) 新EMIS(広域災害救急医療情報システム)が令和7年4月に稼働したことに伴い、自施設の医療機関 基本情報を最新の情報に更新 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 消防機関と医療機関との情報共有及び連携強化を図るため、埼玉県北部地域メディカルコントロール協議会が実施する「多数傷病者事故対応訓練」に参加する予定 ・机上訓練 (令和7年11月18日) ・実践訓練 (令和7年12月18日) |
| 5 | 皆野病院 (災害時連携病院) | 特になし | 災害で通信網が遮断されたときに、通信できるように衛星携帯電話の導入を進めている。 |
| 6 | 埼玉県看護協会 北部・秩父支部 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 埼玉県看護協会 ・災害支援ナース養成研修の開催 ・埼玉県と連携し災害派遣ナースの派遣調整 (2) 秩父地域看護師会 ・定期的な会を実施し、各施設の感染状況などの情報交換 ・講演会『災害時への備え』開催 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 新興感染症患者搬送訓練 (保健所と合同訓練) (2) DMAT養成研修への参加 |

大規模災害発生時の備えに関する各団体の取組状況等一覧

| No. | 所属団体名 | 1 取組状況 | 2 取組予定 |
|-----|-------|---|---|
| 7 | 秩父市 | <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度に避難生活の環境改善と防災力の強化のため秩父市役所敷地内に貯留型マンホールトイレ12基を建設しました。このマンホールトイレは1,500ℓの貯留が可能で、管路内だけで1,000人の3日分が貯留でき、放流することで繰り返し使用できます。  | <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度は能登半島地震でも活躍したトイレトレーラー1台を整備し避難所等の機能不全改善に努めます。このトイレトレーラーは洗浄機能付き暖房便座及び室内暖房機能を備えた個室4部屋を有する車両です。必要時は短時間で設置でき様々な場所での活動が期待されています。  |
| 8 | 横瀬町 | <p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 26箇所の緊急避難場所 9箇所の一般避難所 7箇所の福祉避難所を指定 町民のうち1割強(800人)が避難することを想定し、3日分の水・食料及び非常用トイレ等を備蓄(一箇所で保管)。 各避難所にパーテーションやベッド、生活必需品(毛布、食器、おむつ等)の備蓄を実施。 <p>【健康子育て課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難所における感染予防対策の物品を指定避難所に配置している。 | <p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常用トイレ及び各避難所のベッド等について備蓄を強化予定。 <p>【健康子育て課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時保健活動マニュアルの作成。 |
| 9 | 皆野町 | <p>【危機管理部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体応援(自治体間の避難者受入れ等)、物資供給及び借用(ホームセンター、飲料販売会社、自動車販売会社等)、緊急輸送(トラック協会等)、医療救護(医師会等)、無人操縦機運用(無人操縦機養成所)等の協定を締結している。 公共施設のうち指定避難所として14箇所、社会福祉施設のうち福祉避難所として2箇所を指定している。 平成19年度より自主防災組織(27組織)が設立され、令和2年度から各自主防災組織が開設する地域避難所(集会所等、26施設)の整備事業(防災倉庫及びエアコン等の設置)を実施している。 8箇所の防災倉庫(発電機・段ボールベッド・毛布・簡仕切・非常食・水等)を配備している。 令和5年度から町内の各地区単位での住民参加型防災訓練を実施している。 <p>【保健部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> 難病をかかえながら在宅で生活されている方で人工呼吸器や酸素濃縮装置を使用している方3名について、災害時個別支援計画を作成している。 皆野町在宅酸素濃縮装置及び人工呼吸器利用補助金交付要綱に基づき、申請者に対し、半年に1度の状況確認(予備ポンベ数など)を行い、紙ベースでも管理している。長時間の停電が起きた際など安全確認を行っている。 透析治療を行っている方の情報を紙ベースでも管理している。 | <p>【危機管理部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災備蓄品の補充・更新。 防災訓練の定期的な実施。 <p>【保健部門】</p> <ul style="list-style-type: none"> 危機管理部門、福祉部門、保健部門の定期的な意見交換・情報共有。 |
| 10 | 長瀬町 | <ul style="list-style-type: none"> 保健医療関係(健康こども課)および防災関係(総務課)の担当が共同で災害発生時の保健医療活動に関する研修に参加した(熊谷保健所主催)。 | <ul style="list-style-type: none"> 避難所運営訓練などの各種防災訓練実施の際、保健・医療関連の課と協力して実施する。 簡易トイレの数量を充実させ、災害発生時の衛生状態の改善を図る。 |

大規模災害発生時の備えに関する各団体の取組状況等一覧

| No. | 所属団体名 | 1 取組状況 | 2 取組予定 |
|-----|----------|--|---|
| 11 | 小鹿野町 | <p>(1) 防災対策(災害対策)拠点の整備として、小鹿野町役場新庁舎を建設した(令和5年3月竣工)。太陽光発電のほか、非常用発電機や受水タンクにより3日間の燃料備蓄を確保。</p> <p>(2) 警戒区域と学習記事の更新のため、土砂災害ハザードマップを再作成(令和7年3月)。全戸に配布する。</p> <p>(3) 般若地区を対象とした住民参加型避難所開設訓練を実施(令和7年7月、毎年実施)。自衛隊、警察、消防、東京電力、NTT等が参加。</p> <p>(4) 社会福祉法人美里会ユアアイハウスおがのと共同避難所開設訓練を実施(令和7年7月、毎年実施)。避難経路と避難場所を確認。</p> <p>(5) 河原沢地区住民からの要望により防災学習会を実施(令和7年9月)。</p> <p>(6) 避難所間等の通信及び通信不感地における通信を目的とした「IP無線機及び衛星無線機の整備」を実施する(令和7年12月予定)。</p> | <p>(1) 孤立集落対策として、ホイスト救助ポイント(サテライトヘリポート)の「白井差口バス停付近」を選定した(令和5年9月)。ほかの山間地でも選定ができるよう候補地の検討を行っていく。</p> <p>(2) 避難行動要支援者名簿を整備。災害時にすぐ活用できるよう福祉部局と防災部局で連携する。高齢者等の相談利用者で確認の必要な方について名簿を作成、災害に対する注意喚起及び有事の際の安否確認等を行う。</p> <p>(3) 県内市町村と比較して、備蓄率の低い防災備蓄品(要配慮者向け食品、簡易トイレ)や防災資機材(発電機)を拡充していく。</p> <p>(4) 広域自治体連携ミーティング(利根川上流、荒川上下流自治体)の取組や東京都足立区との協定、東京都渋谷区笹塚仲町会との友好交流など地域間交流を深め、災害への連携強化を高める。</p> <p>(5) 保健医療福祉の連携強化を図り、災害時医療体制の中心になる国保町立小鹿野中央病院を維持していく。</p> <p>(6) 防災学習会の要望は積極的に受け付ける。また、他の地区にも声掛けをしていく。自主防災組織の組織率が県下で低いため、結成につながるようにする</p> |
| 12 | 秩父消防本部 | <p>(1) 緊急消防援助隊、埼玉県下消防相互応援協定、埼玉県特別機動援助隊埼玉SMART ・大規模災害が発生した場合、被災地からの要請を受け緊急消防援助隊出場計画、埼玉県下消防相互応援協定に基づき出場し、各消防本部の消防隊、救急隊、航空隊が応援に駆けつける。これらを受け入れるための秩父消防本部受援計画が制定されている。</p> <p>・毎年行われている緊急消防援助隊、埼玉県特別機動援助隊埼玉SMARTの訓練に参加し、職員の教養を随時行っている。</p> <p>(2) 災害対応能力向上のための訓練・研修の実施 ・埼玉県北部地域メディカルコントロール協議会主催の多数傷病者対応訓練が定期的に開催されており、トリアージ、搬送体制、医療機関連携等の確認、教養を行っている。参加は埼玉県北部地域メディカルコントロール協議会構成消防本部、MC管轄のDMAT、地域DMAT。</p> | <p>(1) 緊急消防援助隊、埼玉県下消防相互応援協定、埼玉県特別機動援助隊埼玉SMART ・緊急消防援助隊後方支援活動の要綱を策定中。秩父消防本部は前記を踏まえた受援計画を変更予定。受援訓練を現在計画中。</p> <p>・緊急消防援助隊の訓練参加。関東ブロック(11月12日13日)、県第3ブロック訓練(11月20日)、県訓練(1月19日、20日)</p> <p>・埼玉県特別機動援助隊埼玉SMART訓練。応用訓練(11月6日)、総合実践訓練(2月4日)</p> <p>(2) 災害対応能力向上のための訓練・研修の実施 ・令和7年度内に、埼玉県北部地域メディカルコントロール協議会主催、多数傷病者対応訓練を11月18日(机上訓練)12月18日(実践訓練)を計画中。現場活動から搬送、医療機関受入までの一連の対応を想定した総合訓練とする予定。</p> |
| 13 | 埼玉県秩父保健所 | <p>(1) 災害対策の充実・強化を図るため、「秩父地域災害保健医療調整会議」を「秩父保健医療協議会」から切り離すとともに、災害時連携病院の皆野病院と市町災害担当部門を新たに加えた形で独立させて設置した(令和7年6月)。</p> <p>(2) 管内機関等の災害対応力の強化を図るため、以下の研修会を開催した。 ・管内市町保健部門からの要望に基づき、「災害対策に関する勉強会」を県庁危機管理部災害対策課、福祉部高齢者福祉課及び保健医療部医療整備課の担当者を講師に迎えて開催した(令和6年11月)。</p> <p>・新EMIS(広域災害救急医療情報システム)が令和7年4月に稼働したことに伴い、EMIS参加医療機関(病院及び有床診療所)を対象としたEMIS操作研修を開催した(令和7年9月)。</p> <p>(3) 保健所の災害対応力の強化を図るため、保健所職員が発災時に迅速な行動ができるよう、行動の指標となる「アクションカード」を作成した(令和7年3月)。また、防災行政無線(電話・FAX)及び衛星携帯電話の通信訓練を、近隣の4保健所合同で年6回実施している。</p> | <p>(1) 「秩父地域災害保健医療調整会議」を毎年開催する。</p> <p>(2) 災害時に必要な住民の命と健康を守るための保健活動を示す「災害時保健活動マニュアル」を管内市町で策定できるよう必要な支援を行う。</p> <p>(3) 秩父保健所内で、アクションカード訓練及び防災行政無線等通信訓練を継続して実施する。</p> |